

報道関係各位

平成 22 年 8 月 26 日

Build Live TOKYO2010 開催！ BIM48 時間耐久レース～学生クラス(96 時間)追加で新展開

建設業における建物モデルデータの標準化を推進している一般社団法人 I A I 日本（代表理事：山下純一）は、平成 22 年 10 月 13 日（学生クラスは 10 月 11 日）より、インターネットや 3D-CAD といった IT ツールを活用して 48 時間で課題の建築プロジェクト設計を行う「Build Live TOKYO2010」を開催いたします。昨年 2009 年に 2 回開催され、大きな反響を得て BIM (Building Information Modeling) の推進に大きな影響を及ぼしました。今年は BIM の裾野拡大を狙い、学生クラスを新設し会社規模や経験に関係なく参加できるイベントとなりました。また、インターネット上で行われるため、実際に 3 次元モデルを作成し BIM を試みる『参加者』としてだけでなく、『参加者』が提案するデータをリアルタイムで閲覧できる『見学者』としてもイベントにご参加頂けます。

1. 参加方法

何れの参加方法も無料です。以下のサイトから手続きしてください。

見学登録、参加登録のサイトはこちら：

http://www.iai-japan.jp/event_seminar/index.html

2. 開催日時

【実務クラス】 2010年10月13日（水）18:00～15日（金）18:00

【学生クラス】 2010年10月11日（月）12:00～15日（金）12:00

3. 提出

規定時間内にデータ共有サイトの所定フォルダに資料および成果物をアップロードしてください。進捗状況の分かるような中間成果物のアップロードによるアピールも可です。

（※実施詳細・課題は追ってお知らせします）

4. 審査員

- ・松家克氏
武蔵野美術大学 理事
ARX 建築研究所 代表
- ・山口重之氏
東京都市大学 都市生活学部 教授
- ・池田靖史氏
慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 教授
IKDS 代表
- ・山梨知彦氏
日建設計 設計部門 副代表
- ・特別審査員
<調整中>
- ・IAI 日本

5. 結果発表

結果は10月28日（木）開催のArchiFuture2010の会場にて発表します。

また、同会場にて各賞の表彰式、さらに上位チームにはプレゼンテーションの機会を設けます。

（※実施詳細は追ってお知らせします）

6. 公式関連サイト

・ Build Live Tokyo 2010 サイト : <http://bltokyo2010.seesaa.net>
設計条件・各種情報を順次配信いたします。

・ 公式 Twitter @build_live_iai : http://twitter.com/build_live_iai
ハッシュタグは『#blt2010』 随時情報をツイートいたします。

■イベントの特徴

当イベントは、インターネット上で行われ、実際に3次元モデルを作成しBIMを試みる『参加者』としての登録だけでなく、イベント中に参加者が作成しているデータを閲覧できる『見学者』としても登録参加することができます。

【参加者】 : 事前に公開される敷地データや設計条件等を元に設計を進めます。

作成した意匠モデルや構造、設備のモデル、プレゼンテーション資料、各種シミュレーション結果はデータ共有サイトの自チームのデータファイルキャビネットへタイムリーにアップロード。そして、他のメンバーが作成したデータをダウンロードしてさらに活用するなど、BIMの特性を体感できます。

【見学者】 : 各参加チームの公開データをリアルタイムに観ることができます。

イベント中にデータファイルキャビネットを閲覧することができるので、参加者がチーム内でどのようにBIMを活用した設計を行っているのか、各チームごと手法や進行をリアルタイムに観戦することができます。

お問い合わせ先

一般社団法人IAI日本

Build Live事務局

mail: BuildLive@iai-japan.jp